

「北海道中魅力理解」

～ホッカイドウチュウミリョクリゲ～

【第5回】「北海道中魅力理解」～ホッカイドウチュウミリョクリゲ～

航空気象群ホームページのコラム「気象の杜」へお越しいただきありがとうございます。今回は筆者が勤務しております都道府県魅力度ランキング不動の1位「北海道」を、春夏秋冬、気候や気象を交えながら楽しく紹介したいと思います。

北海道の魅力は、四季折々の大自然や豊富な海と山の幸、牧場や農園、はたまた温泉などと多種多様であり、どんな方でも楽しめる所だと思います。それでは、そんな魅力満載な北海道のベストシーズンである夏から旅をスタートします。

世界気候区分では、温帯に属する本州に対し、北海道は亜寒帯に属しています。気温、湿度ともに低いため、北海道の夏は過ごしやすく、それは植物にとっても同様で、ラベンダーやジャガイモの花など、他の地域ではあまり見ることがない様々な種類の花が見頃となり、美しい景色が楽しめます。一方、太平洋側では、太平洋高気圧が北海道まで張り出すと、暖かく湿った空気が冷たい海水（親潮）を吹走する過程で冷やされて発生する「海霧」に覆われる日が多くなります。我々気象関係者は、色とりどりの景色を堪能している観光客を横目に、洋上から流れ込んでくる真っ白な霧と日夜奮闘しています。北海道の夏、魅力を挙げればキリがありません（霧はです）。

北海道の秋は、過ごしやすい夏から過酷な冬への準備期間です。低気圧や高気圧が交互に通過し、小春日和の晴れ間が広がる半面、上空に寒気が流入し、雷雨や突風が発生しやすい季節でもあります。発達した低気圧通過後は、気温が急激に低下するなど、穏やかな本州の秋とは違った印象を受けます。この大きな寒暖差がジャガイモやカボチャといった北海道産の美味しい野菜を育てるそうです。タダでは美味しい思いをさせてくれない自然の厳しさのようなものを感じますね。

「ホワイトクリスマス」「雪の花」「天からの手紙」など、雪をテーマにした表現は幻想的で美しい景色を思い起こさせます。雪の少ない地域で少年時代を過ごした筆者にとって、CMやドラマなどで雪が降るシーンはロマンチックの象徴でした。日本付近の等圧線が縦縞模様の冬型の気圧配置になると、大陸から冷たい空気が日本列島に向かって流れ込み、相対的に暖かい海面を吹走することで、日本海に筋状の雲が発生し日本海側を中心に大量の雪を降らせます。千歳基地では降雪日数（12月～3月までの間）が月平均24.7日とほとんど毎日雪を観測していて、その降雪量は、2021年度において過去最高を超え586cmとなりました。また、気温についても低く、1～2月は最高気温が氷点下になることも、しばしばです。地面は雪や氷に覆われ、車の運転はおろか、まともに歩くことさえままならない日もあります。その過酷さや日々の雪掻きで筆者が抱いていた雪に対するロマンチックな想いは3日で消し飛びました。しかし、北海道は蟹の王様タラバガニや高級食材で知られるタラの白子「たち」など海産物を中心とした冬の味覚、環境を活かした雪まつりな



ジャガイモ（馬鈴薯）の花

※北海道庁ホームページより



千歳・支笏湖氷濤まつり

※札幌観光協会ホームページより

どのイベント、ウィンタースポーツやワカサギ釣りなど、あり余る魅力に溢れています。過酷さも踏まえた、真の「冬」を感じることができるのが北海道の醍醐味なのです。

そうこうしていると、季節は春を迎え、厳しい冬の鬱憤を晴らすかのように北海道の大自然が一斉に芽吹き始めます。筆者が広大なチューリップ畑やピンクの絨毯を敷き詰めたように広がるシバザクラを初めて見たときは、希望に満ちた新生活を祝う大地からの贈り物のように感じました。また、ウドやタラの芽、北海道ならではの行者ニンニクといった山の幸を使った天ぷらや山菜ごはんは格別で、グルメ



東藻琴芝桜公園

※北海道庁ホームページより

面でも死角はなく「見てよし、食べてよし」が一年中続きます。一方、春は景色だけでなく、天候も大きく変化する季節です。春のはじめは、山を中心に積雪がまだ多く、低気圧が接近すると南からの暖かい空気によって、雪解けが加速するとともに大雨が降り、なだれや洪水が発生する可能性が高まります。低気圧通過後は、再び冬型の気圧配置となり、真冬並みに気温が下がり吹雪になることもあるため、春は自然の脅威が最も現れる季節と言えるのです。

このように、季節を通じて、北海道を巡ってみると、北海道における美しく美味しい自然の恵みは、厳しく過酷な気候によって生まれる特産物のように思いませんか？

今回は、北海道の魅力について気象要素を交えながら紹介しました。現地の方に聞いたところ、その他にも「台風がこない」、「ゴキブリがでない」など、まだまだ魅力があるようです。

我々自衛官は、この豊かな自然や文化を持つ北海道、そして日本を守るために、日々訓練し気象業務に励んでいます。